

主な記事

旅団災害対処演習

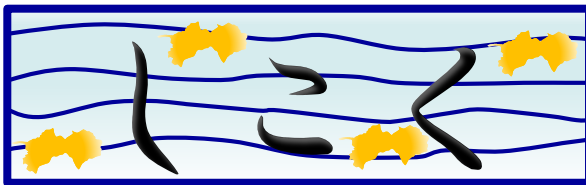
(1面)

旅団小火器射撃競技会

(2面)

旅団定期演奏会

(3面)



令和3年(2021年) 2・3月 第166号

旅団長統率方針「任務必成」
旅団長要望事項「プロであれ」



陸上自衛隊第14旅団広報紙

発行所：第14旅団司令部総務課広報班

住所：香川県善通寺市南町2丁目1-1

電話：0877-62-2311 (内2256・2257)

メールアドレス：pr-14b-ma@inet.gsdf.mod.go.jp

『任務必成』

災害対処能力をより確かなものに

旅団災害対処演習



日米共同での救出救助訓練（高知県へ向け離陸）
（北徳島分屯地）



海岸に揚陸するエアクッション艇（LCAC）
（高知県興津海岸）

第14旅団（旅団長遠藤充陸将補）は、令和3年2月10日から13日までの間、第14旅団の災害対処能力の向上等を目的に令和2年度旅団災害対処演習を行った。

本演習は、南海トラフ地震発生を想定した訓練で、旅団指揮所を善通寺駐屯地から高知駐屯地へ移設する指揮所開設訓練及び各駐屯地での派遣準備訓練を実施した。また、令和2年度日米共同統合防災訓練の場などを活用して、在日米軍との共同対処（救援物資の輸送、救出救助訓練）を実動で実施するとともに、指揮所訓練、艦船（輸送艦「しもきた」）を拠点とした救出救助活動及びDMAT等との連携要領を確認した。

旅団は、本訓練を通じて、南海トラフ地震発生時における在日米軍、海空自衛隊、関係地方公共団体等との連携による震災対処能力の向上を図ることが出来た。

特集

ピックアップフォト集



派遣準備を行う第14施設隊
（徳島駐屯地）



派遣準備を行う中部方面特科隊
（松山駐屯地）



派遣準備を行う第15即応機動連隊
（善通寺駐屯地）



早朝より訓練準備を行う第14飛行隊
（北徳島分屯地）



在日米軍との調整会議
（北徳島分屯地）



作戦指揮を執る遠藤旅団長（写真中央）
（高知駐屯地）



LCACから上陸する第50普通科連隊
（高知県興津海岸）



エアクッション艇（LCAC）に乗船する
第50普通科連隊（高知県興津海岸）



救出救助訓練を行う第14飛行隊
（高知県高須浄化センター）

旅団小火器射撃競技会

目指せ！『射撃日本一旅団』

個々の練度高め 旅団ナンバーワンになる

第14旅団は、2月13日から19日までの間、高知駐屯地及び高知覆道射場において旅団の小火器射撃能力の向上を図る目的で、令和2年度旅団小火器射撃競技会を実施した。本競技会は、抽選等で選ばれた各部隊の隊員がA・Bの2コグループ及び新隊員の区分で、分隊戦闘射撃、応用射撃、89式5・56mm小銃基本射撃上級及び5・56mm機関銃基本射撃の4種目の区分で日頃の

分隊戦闘射撃



た、分隊戦闘射撃及び応用射撃は旅団小火器射撃競技会初の課目となり「射撃日本一」を目指す旅団として、より一層の能力向上を図った。

統裁官の要望事項「標的を的（ま）と」思うな。敵と思え」及び「部隊として勝利を勝ち取れ」を胸に約1600名が2夜3日におたり射撃を行った。連隊対抗の部は、優勝 A Gp 第50普通科連隊（連隊長 溝口光章1等陸佐）、隊・中隊対抗の部1位 A Gp 第50普通科連隊第3中隊（中隊長 鷺津浩文3等陸佐）、B Gp 第50普通科連隊本部管理中隊（中隊長 富永輝男1等陸尉）がそれぞれ優勝の栄冠を勝ち取った。

隊員所感

第50普通科連隊第1中隊

第1位 分隊戦闘射撃3分隊長

3等陸曹 萩 大和

3分隊の分隊長として旅団射撃競技会に参加しましたが、分隊員が各人の任務や動作を理解し、各正面の与えられた仕事をしつかりやってくれたこと、本番で緊張せずいつもどおりの射撃能力を発揮してくれたことが勝利に繋がったと思います。

この結果に満足せず、更に射撃能力を向上させ、次は2連覇を目指したいと思います。



表彰を受ける萩3曹（写真：中央）



統裁部企画統制課



3昼夜を徹して勤務する
統裁部隊員



応用射撃



分隊戦闘射撃

【小火器射撃競技会の結果】

■部隊対抗の部

A Gp 優勝 第50普通科連隊

A Gp 中隊対抗の部 第50普通科連隊第3中隊

B Gp 優勝 第50普通科連隊第1中隊

B Gp 準優勝 第50普通科連隊本部管理中隊

準優勝 第50普通科連隊機動戦闘車隊

優勝 第50普通科連隊機動戦闘車隊

分隊戦闘射撃の部 第50普通科連隊第1中隊第3分隊

A Gp 分隊・個人の部 第50普通科連隊第3中隊第3分隊

2位 第50普通科連隊第3中隊第3分隊

1位 第50普通科連隊第3中隊第3分隊

個人対抗の部 第50普通科連隊第3中隊第3分隊

応用射撃22 習会幹部・陸曹の部 第50普通科連隊第2中隊

1位 第50普通科連隊第2中隊

2位 第50普通科連隊第3中隊

3位 第50普通科連隊第3中隊

2位 第50普通科連隊第3中隊

1位 第50普通科連隊第3中隊

3位 第50普通科連隊第3中隊

2位 第50普通科連隊第3中隊

1位 第50普通科連隊第3中隊

応用射撃22 習会幹部・陸曹の部 第50普通科連隊第2中隊

1位 第50普通科連隊第2中隊

2位 第50普通科連隊第3中隊

3位 第50普通科連隊第3中隊

2位 第50普通科連隊第3中隊

1位 第50普通科連隊第3中隊

応用射撃19 第50普通科連隊第1中隊

1位 第50普通科連隊第1中隊

2位 第50普通科連隊第2中隊

3位 第50普通科連隊第2中隊

2位 第50普通科連隊第2中隊

1位 第50普通科連隊第2中隊

応用射撃19 第50普通科連隊第1中隊

1位 第50普通科連隊第1中隊

2位 第50普通科連隊第2中隊

3位 第50普通科連隊第2中隊

2位 第50普通科連隊第2中隊

1位 第50普通科連隊第2中隊

機関銃基本射撃の部 第50普通科連隊第2中隊

1位 第50普通科連隊第2中隊

2位 第50普通科連隊第2中隊

3位 第50普通科連隊第2中隊

2位 第50普通科連隊第2中隊

1位 第50普通科連隊第2中隊

3位 第50普通科連隊第2中隊

2位 第50普通科連隊第2中隊

1位 第50普通科連隊第2中隊

■B Gp 個人の部

個人対抗の部 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

3位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

応用射撃13 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

3位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

応用射撃19 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

3位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

応用射撃19 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

3位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

基本射撃上級 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

3位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

基本射撃上級 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

3位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

共通 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

3位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

基本射撃上級 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

3位 第14旅団第14中隊

2位 第14旅団第14中隊

1位 第14旅団第14中隊

旅団定期演奏会

聴衆を魅了
—華麗なる吹奏楽の響き—

第14旅団は、2月28日、香川県高松市レクザムホール（香川県県民ホール）において令和2年度第14旅団定期演奏会を実施した。
本演奏会は、各種イベントが中止となるなか新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して、ソーシャルディスタンスを確保しつつ開催した。



国歌吹奏



来場者全員に対し検温を実施

第14音楽隊（隊長 富田淳子1等陸尉）は、今年のテーマ「明日への希望」をイメージした、クラシック、ジャズ及びポップスの3幕で実施した。
また、アンコールを受け鬼滅の刃「紅蓮華」、「名譽ある砲兵中隊（蜚の光行進曲）」を演奏し、約700名の来場者の盛大な拍手のうちに演奏会を終了した。

特集

ピックアップフォト集



第14音楽隊長



の、高揚を図ることを目的として行われ、隊員は高低差約340m、距離約5.2kmの厳しい登山コースに挑み、健脚を競った。参加した全隊員が日頃の練成の成果を遺憾なく発揮。中隊対抗の部において第3普通科中隊が優勝した。
また、2月26日に炊事競技会を実施した。各中隊（付）隊は代表者7名で炊事班を編成。統裁官（連隊長）要望事項の「調理技術を駆使して、時間内に調理を完成せよ」「安全管理」「衛生管理に万全を期せよ」に隊員は気を配りつつ、カレーライス・唐揚げ・スパゲッティ・サラダ・フルーツ盛り合わせを手際よく調理した。調理終了後、食味・盛り付け等の審査の結果、第2機動戦闘車中隊が優勝した。
なお、今年度の各競技会を通じて、競技に参加する選手はもとより、それをサポートする隊員及び競技会の統裁を支える隊員を含め、連隊全体がチーム一丸となり、団結の強化及び士気の高揚を図ることができ、実り多い競技会となった。

第15即応機動連隊

連隊競技会

第15即応機動連隊（連隊長 品川淳二1等陸佐）は、2月24日から25日に大岡山（香川県善通寺市）において、持続走競技会を実施した。本競技会は、各隊員の体力、特に持久力の維持・向上を図るとともに、部隊の団結の強化、士気

炊事競技会

持続走競技会



優勝
第2機動戦闘車中隊



手際よく調理する隊員



優勝
第3普通科中隊



スタートに全集中する隊員



有線の縛着を行う隊員

第10次連隊野営

第50普通科連隊

総合訓練に向け一丸となる！

第50普通科連隊（連隊長 溝口光章1等陸佐）は、3月2日から6日まで、あいち野演習場（滋賀県）において第10次連隊野営を実施した。本連隊野営において、令和2年度陸士特技課程「初級部隊通信」教育の集大成として、入隊2年目までの隊員28名に対する総合訓練を実施し、有線通信手及び無線通信手として必要な知識・技能を修得させた。有線構成については、昼夜間において回線を構成し、構成経路の偵察、障害復旧及び夜間における構成能力の向上を図った。



指揮所内での電報送受



架設



有線構成

期間の終始を通じ、マスクの着用、手洗い及び消毒等の新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、異状なく訓練を終了した。



PFI船を用いた機動

第14後方支援隊

第14後方支援隊輸送隊（隊長 城本光俊3等陸佐）は、3月2日から6日まで、あいち野演習場（滋賀県）において輸送隊小隊検閲を実施した。

輸送隊小隊検閲 目標に練磨 旅団唯一の輸送専門部隊として

本訓練は、PFI船「はくおう」を用いた海上機動訓練と連接して実施され、隊は当初、坂出港（香川県）から乗船し瀬戸内海をわたり姫路港へ機動、その後、陸路であれば野演習場まで機動した。

あいち野演習場へ展開してから、雨と時折降り注ぐみぞれによって泥濘化した地形に悪戦苦闘しながらも、輸送隊長要望事項である「輸送必着」「安全管理」を具現すべく、不撓不屈の気概の下、展開地の警戒及び輸送行動等を実施した。特に輸送行動に当たって

は、ゲリラの襲撃を受けたものの、機関銃手の迅速的確な射撃による敵の拘束及び車両の後退行動との連携により、速やかに伏撃点を離脱し、輸送任務を完遂し上級部隊の作戦に寄与することができた。

今回の2夜3日の検閲では、各隊員は自身の限界に挑戦しただけではなく、協同一致して最後まで任務に臨んだ。

一方で次々と困難な状況が生起する中、疲労や睡眠不足からくる基本基礎に係る改善点も収集することができたため、今後は心期せずして戦える部隊を目指し、旅団唯一の輸送専門部隊としてあらゆる任務を遂行していきたい。



敵情を監視する機関銃手

中部方面特科隊

隊銃剣道競技会

中部方面特科隊（隊長 服部真之介1等陸佐）は、2月21日各中隊の近接戦闘能力の底上げを図るとともに、中隊の団結・士気の高揚を目的として、令和2年度隊銃剣道競技会を実施した。



激闘する千守士長（写真：左）

中隊と個人の名誉をかけ、選手と応援する隊員が一丸となり、白熱した試合が繰り広げられ、所望の目的を達成した。

競技の結果、第3中隊が優勝に輝き、大会6連覇の栄冠を手にした。

隊員インタビュー



中部方面特科隊第3中隊

陸士長 千守 崇之

●優勝して現在の心境
中隊長指定選手として常勝3中隊のプレッシャーがありました。優勝できてほっとしています。

●練習で気を付けていること
基本を大切に、慢心すること無く練習し、突き損じを無くすよう努力しています。

●これからの目標
陸曹候補生2次試験合格に向けて頑張っており、銃剣道訓練隊と中隊での勤務を両立させ、部隊に貢献できる陸曹になることが目標です。また、青少年銃剣道大会2連覇を目指して練成しています。

主な戦歴

全国高校生銃剣道大会 個人戦 3年連続第3位
第50回全日本青年銃剣道大会 青年第2部 優勝

日米共同統合防災訓練参加 第14飛行隊



日米隊員との調整会議

第14飛行隊（隊長 高橋慎一郎 2等陸佐）は、2月12日から13日の間、北徳島分屯地及び高知市内等において令和2年度日米共同統合防災訓練（02 T R E X）に参加した。

本訓練では、南海トラフ地震が発生した場合を想定し、第14飛行隊所属のUH-1Jヘリコプターと在日米陸軍航空大隊所属のUH-60Lヘリコプターの共同編隊飛行による被災地域への推進、それに続く高知市内における被災者の救助訓練を実施した。その後、米陸軍は洋上にて待機する海上自衛隊輸送艦「しもぎた」への患者搬送及び艦上給油を実施し、全機が無事帰投した。

本訓練に参加した隊員は、「米陸軍と共同訓練を実施できる機会を得ること



日米共同での救出救助訓練（高知県へ向け離陸）

ができた事は大変貴重であり、四国の防衛警備、災害派遣等を担担する飛行隊として米陸軍との相互運用性向上のため、引き続き積極的に共同訓練に参加したい。」と話し、その姿に飽くなき向上心が見えた。



初度巡視（勤務隊舎）



初度巡視（倉庫等）



偵察隊長による精神教育



記念撮影

第14偵察隊

今村隊長 着任 部隊の現況を把握

第14偵察隊は、3月15日、第14偵察隊長 今村正文2等陸佐の着任式を第14旅団長立会のもと実施した。

隊長 今村2佐は、第14旅団長から着任の紹介を受けた後、参列部隊指揮官佐伯1尉以下60名を前に訓示訓示を行い、統率方針「任務完遂」要望事項「今に即応し、明日に備えよ」を掲げた。

着任式終了後、幹部挨拶、写真撮影、状況報告及び初度巡視を実施した。

翌日、隊長による精神教育が実施され、隊長の統率方針及び要望事項を隊員に徹底した。

第14施設隊

第7次隊野営（実爆）

第14施設隊（隊長 澤水隆一 2等陸佐）は、2月2日から7日までの間、あいば野営場（滋賀県）において、爆破薬の取り扱い要領の修得及び各施設技術能力の向上を目的とし、令和2年度第7次隊野営（爆破）を実施した。

令和2年度最後となる本野営では、爆破薬の現物を用いた取り扱い要領の教育、基礎爆破、状況下での障害構成及び障害処理の実爆訓練を効果的かつ効率的に実施し、段階的に練度を向上させた。

また、爆破後の景況を確認し、印象教育すること、特に若年隊員の戦力強化を図ることができた。



装薬回路の構成（基礎爆破）



爆破薬の現物を用いた取り扱い教育



破壊筒による障害処理



指向性散弾による障害構成



空中戦の建柱訓練



通信線の縛着訓練

第14通信隊

特技転換集合訓練

第14通信隊（隊長 西山仁基 2等陸佐）は、通信機材のシステム化に伴い特技転換集合訓練を実施した。

本訓練は、システム通信科への円滑な移行に資するため、平成31年度当初から通信科で行われている事業の最終段階である。現特技から新たに必要な特



学科試験

技教育を受けた各隊員は、これまでの教育の成果を発揮するべく検定に臨んだ。

1月15日には、特技転換学科競技会を実施し、新たな特技体系に基づく通信特技の理解の促進に努めるとともに、その理解度を評価した。

1月25日から28日の間、空中線建柱及び暗号電信訓練。2月4日から5日の間、器材操作及び暗号電信の実技訓練を行った。その後、各種器材の操作要領の検定等を実施した。

隊は、今年度10月に着陸した新隊員も含め、慣れないモジュール信号の送受信や、なじみのないアンテナ建柱及び個人の主特技以外の器材操作等を実施するとともに、他部隊への特技転換支援も実施している。

新たな特技職等への円滑な変更に資するため更なる練成に励む。

第14高射特科隊

初級・上級特技検定



11短SAMの点検



検定開始報告

第14高射特科隊（隊長 富高英和 2等陸佐）は2月24日から26日までの間、松山駐屯地及び小野演習場において令和2年度初級・上級特技検定を実施した。

各検定は、各器材に対する識能及び器材操作要領の習熟度を検定するものであり、検定受検者は、全員検定に合格し、それぞれの特技を付与された。

その他、初級検定受検者は、無線機の取扱い、掩体構築及び歩哨等の行動を合



歩哨警戒中に不審者を発見し拘束する隊員



初級検定受検者による小銃用掩体の構築



誘導弾の運搬

わせて演練し、野外における部隊行動の基礎を確立した。

第14特殊武器防護隊

旅団化学集合訓練（練成）



装備品除染



人員除染

第14特殊武器防護隊（隊長 新美賢一 3等陸佐）は、3月2日から4日までの間、善通寺駐屯地において令和2年度旅団化学集合訓練（練成）を実施した。

本訓練は、旅団隷下部隊化学特技保有者に対し、対特殊武器戦の概要、器材教育及び除染作業隊の行動について部隊化学特技者の練度を向上させた。

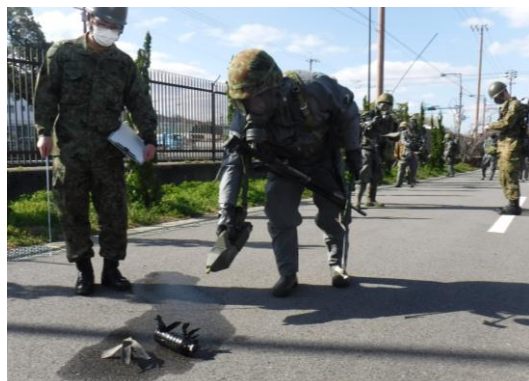
参加者は、「除染作業隊の行動を再認識できた」と



NBC報告・通報教育



除染装置操作練成



汚染地域の偵察

話し、その姿に飽くなき向上心が見えた。



電話対応を行いつつ
医務業務を行う徳田2曹



会計陸曹不在間の業務支援で
会計業務を行う梶尾曹長



監察業務を行う中矢曹長

第14旅団司令部付隊

部隊紹介

旅団災害対処演習

第14旅団司令部付隊第6勤務班で勤務しております中矢曹長です。
私が勤務する第6勤務班は、監察・法務・会計・医務で構成されております。
今回は、第6勤務班の旅団災害対処演習での勤務状況を紹介します。



第14旅団司令部付隊
陸曹長 中矢 幸男

第14旅団司令部付隊(付隊長 土井明3等陸佐)は、2月10日から13日の間、高知駐屯地で実施された令和2年度旅団災害対処演習に参加した。
同演習は、司令部を2派に分け、第1派が10日に前進して旅団指揮所を概成した。私は、10日に第2派で高知駐屯地へ前進し、師団等指揮システム・業務システム等を設置し、旅団長の点検を受け旅団指揮所の開設を完了した。
12日朝より、発災の状況が付与され一連の幕僚活動を開始した。
監察は、旅団指揮所(高知駐屯地)と後方指揮所(善通寺駐屯地)で分かれていたが、旅団指揮所と後方指揮所を基地回線及び業務システムでつなぐことで、監察の準備等十分なやり取りを実施することが出来た。また、会計・医務の幕僚の補佐として、梶尾公明陸曹長(会計)、徳田知史2等陸曹(医務)が参加し、それぞれが状況に対する各幕僚の補佐業務を実施し、所望の成果を得ることが出来た。

隊員投稿



「射撃の年」

第14偵察隊
3等陸曹 大里 渉

今年度を振り返ると、射撃に多く携わることができた年だったと感じます。
4月から8月までの間、計4回実施された旅団射撃集合訓練は、技術よりも射撃や戦闘に対する考え方を学べるとてもいい機会でした。

旅団内から集まった各種の隊員と、戦闘射撃に必要な能力・技術・訓練等を議論し、それを体現できたときはこれまでの訓練では得られなかった達成感がありました。
そして10月、部隊で行わ

れた89式5.56mm小銃基本射撃検定では、今までは準特級だったところ、特級という結果を出し、さらに2月に行われた旅団射撃競技会では、89式5.56mm小銃基本射撃上級(幹部・陸曹の部)において第2位という成績を収めることができました。
このように個人として良い成果を出せるようになりましたが、これも第14偵察隊のご理解とご協力により出せたものと思います。来年度は、この成果を部隊に還元できるようさらなる練習向上と責任感をもって訓練に取り組んでいきたいと思っております。



旅団射撃集合訓練で戦闘射撃を行う大里3曹

らっぱ手のための ワンポイントレッスン♪

第14音楽隊

vol.5

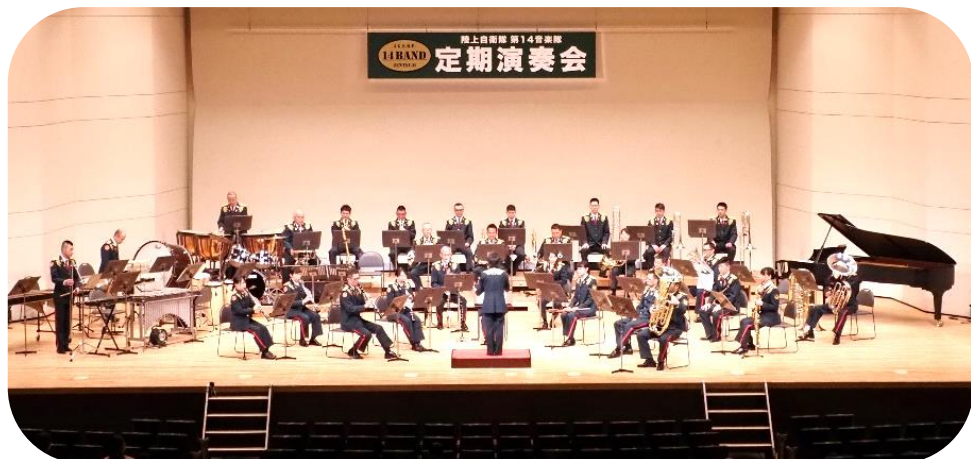
今回は「君が代」について話したいと思う。
「君が代」を苦手とする隊員も多いと思うが、以下に示す2点の事に注意し吹奏すると、演奏が安定するだろう。

1点目は、2分音符が何度か出てくるが、この2分音符が音価(ある音に与えられた楽譜上の時間の長さのこと)通り伸ばしていない事がよくある。

2点目は、3小節目と7小節目の3・4拍目の8分音符が、規定のテンポより速く吹奏しているように聴こえる時が多々ある。原因として考えられるは、「楽譜をいい加減に読んでいる」もしくは、「自分の中のテンポがない」の2点が考えられる。

練習方法としては、メトロノームをJ=69に設定し、楽譜に書かれている通り吹奏する練習する。そしてここからが重要だ。8分音符のガイドを鳴らして練習して欲しい。どういう意味かと言うと、鳴らしているテンポの倍のテンポ(例: J=69→J=132)で練習する。ここで鳴っているのが8分音符だ。この練習をすることで自分の中で細かいテンポ感が確立され、より安定した演奏となるだろう。しかしながらこのテンポに囚われる事なく、遅いテンポから徐々にあげていく等の練習も実践して欲しい。長い音を伸ばしている時も、常に細かいテンポを頭で意識することが、より正確な演奏へとつながる。

次に音楽隊の近況について紹介する。



2月28日(土)レクザムホール大ホール(香川県県民ホール)にて「令和2年度 第14旅団定期演奏会」を実施した。音楽隊としての部外での演奏は約1年ぶりであった。新型コロナウイルス感染症拡大において予断を許さない状況を踏まえ、収容率を約半分に制限する等の万全な対策のもと開催された。そんな中でも、足を運んで下さった方の前で演奏出来た事は、とても幸せな時間であったとともに、更に演奏技術を磨き、新型コロナウイルスが終息した時より多くの方々に音楽を届けたい。

隊員家族投稿

「出合いに感謝」

第14偵察隊
3等陸曹 三野 勇人
妻 祥さん

結婚当初、私は自衛官の妻として行事やイベント等に参加することに不安も緊張もあったのですが、上司の方々と先輩夫婦の皆さんが優しく話しかけてくださり、子供同士で遊ばせることができたり、個人的に遊びに誘っていただいたり

と、もともと人見知りな私にとっては自分の居場所を作っていただけなのに感謝でしかありません。夫の職場での話やどういふ環境で仕事をしているかなども少しですが知ることもでき、とてもいい機会だと思

家族ぐるみで仲良くしてくださった方々と転属等できなくならず、連絡をいただけたりと遊びにいかせていただけたりと長くお付き合いさせていただいています。また、新しい出会いもあり自衛官の妻になり、いい出会いがたくさんあるなど感じています。



はわかりませんが、不安だらけだった私を連れ出してくれた夫をはじめ、周りの方々に感謝しつつ、これからもたくさんの出合いを大事にして夫を支えていきたいと思っています。

「揚々たる前途」

第14旅団司令部付隊
3等陸曹 徳本 真也
第14特殊武器防護隊
3等陸曹 妻 友美

2021年春、コロナ禍で制限のある中、妻の勤務地である善通寺へと引っ越ししてきました。

任し、今まで別々に暮らしていた所からようやく結婚2年目で同居となりました。この異動ができたことに以前の職場への感謝の念が絶えません。

く、これから始まる2人の生活への展望は膨らむばかりです。最後に、これまでお世話になった家族、同僚、友人に感謝し、新たな職場で新規一転頑張りながらも新婚2年目を楽しみたいです。



人事往来

転入

第14旅団司令部第3部長
(教育訓練研究本部付)
1等陸佐 佐々木久史

第14偵察隊長
(西部方面総監部総務部)
2等陸佐 今村 正文

第14旅団司令部第4部長
(輸送学校)
2等陸佐 岡田 貴司

第14旅団司令部医務官
(善通寺駐屯地業務隊)
2等陸佐 三沢 和央

第14旅団司令部総務課長
(富士学校)
3等陸佐 堀 正幸

第14音楽隊長
(中央音楽隊)
2等陸尉 中福島昭洋

転出

第12施設群長兼ねて岩見沢駐屯地司令
(第14旅団司令部第3部長)
1等陸佐 荒関 大輔

自衛隊青森地方協力本部募集課長
(第14偵察隊長)
2等陸佐 塩田 将仁

教育訓練研究本部
(第14旅団司令部第4部長)
2等陸佐 山下 一友

自衛隊阪神病院
(第14旅団司令部医務官)
2等陸佐 谷知 正章

東部方面指揮所訓練支援隊副隊長
(第14旅団司令部総務課長)
3等陸佐 宮崎 智仁

中央音楽隊
(第14音楽隊長)
1等陸尉 富田 淳子

部内・外表彰

■自衛隊体育学校第1教育課長賞 優秀

一般体育課程第11期「曹体育専修」

第50普通科連隊 重迫撃砲中隊

2等陸曹 隅田 大生

■第14通信隊長賞 最優秀

令和2年度陸士特技課程

「部隊暗号」及び「部隊無線電信」

第14施設隊 渡河器材小隊

1等陸士 桧原 雅典

■第6位(男子シングルス)

第67回四国卓球選手権大会

第15即応機動連隊 本部管理中隊

1等陸士 吉田 智司



令和3年3月15日付



陸上自衛隊 第14旅団

逐次発信中！



陸上自衛隊
広報チャンネル



陸上自衛隊広報チャンネル
(YouTube) に
「自衛隊式感染症予防」
を掲載中！